(Ⅱ) 病院実習

一般目標:

病院薬剤師の業務と責任を理解し、チーム医療に参画できるようになるために、調剤および 製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

(1) 病院調剤を実践する

一般目標:

病院において調剤を通して患者に最善の医療を提供するために、調剤、医薬品の適正な使用 ならびにリスクマネージメントに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。

《病院調剤業務の全体の流れ》

到達目標:

- 1. 患者の診療過程に同行し、その体験を通して診療システムを概説できる。
- 2. 病院内での患者情報の流れを図式化できる。
- 3. 病院に所属する医療スタッフの職種名を列挙し、その業務内容を相互に関連づけて説明できる。
- 4. 薬剤部門を構成する各セクションの業務を体験し、その内容を相互に関連づけて説明できる。
- 5. 処方せん(外来、入院患者を含む)の受付から患者への医薬品交付、服薬指導に至るまで の流れを概説できる。
- 6. 病院薬剤師と薬局薬剤師の連携の重要性を説明できる。

《計数・計量調剤》

到證目標:

- 7. 処方せん (麻薬、注射剤を含む) の形式、種類および記載事項について説明できる。
- 84 処方せんの記載事項 (医薬品名、分量、用法・用量など) が整っているか確認できる。
- 94. 代表的な処方せんについて、処方内容が適正であるか判断できる。
- 10点、薬歴に基づき、処方内容が適正であるか判断できる。
- 114. 適切な疑惑照会の実務を体験する。
- 12△、薬袋、薬札に記載すべき事項を列挙し、記入できる。
- 13△ 処方せんの記載に従って正しく医薬品の取りそろえができる。(技能)
- 14⁴ 錠剤、カフセル剤の計数調剤ができる。(技能)
- 15年、代表的な医薬品の剤形を列挙できる。
- 164. 代表的な医薬品を色・形、識別コードから識別できる。(技能)
- 174. 医薬品の識別に色、形などの外観が重要であることを、具体例を挙げて説明できる。
- 184. 代表的な医薬品の商品名と一般名を対比できる。
- 19年 異なる商品名で、同一有効成分を含む代表的な医薬品を列挙できる。
- 20分 毒薬・劇薬、麻薬、向精神薬などの調剤ができる。(技能)
- 214. 一回量(一包化) 調剤の必要性を判断し、実施できる。(知識・技能)
- 22点 散剤、液剤などの計量調剤ができる。(技能)

- 23点 調剤機器(秤量器、分包機など)の基本的な取扱いができる。(技能)
- 244. 細胞群性のある医薬品の調剤について説明できる。
- 254. 特別な注意を要する医薬品(抗悪性腫瘍薬など)の取扱いを体験する。(技能)
- 264. 錠剤の粉砕、およびカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる。(知識・技能)
- 274. 調剤された医薬品に対して、鑑査の実務を体験する。(技能)

《服薬指導》

到遊目標:

- 28点. 患者向けの説明文書の必要性を理解して、作成、交付できる。(知識・技能)
- 294. 患者に使用上の説明が必要な眼軟膏、坐剤、吸入剤などの取扱い方を説明できる。
- 30点. 自己注射が承認されている代表的な医薬品を調剤し、その取扱い方を説明できる。
- 31⁴. お薬受け渡し窓口において、薬剤の服用方法、保管方法および使用上の注意について適切に説明できる。
- 32⁴. 期待する効果が充分に現れていないか、あるいは副作用が疑われる場合のお薬受け渡し 窓口における対処法について提案する。(知識・態度)

《注射剤調剤》

到達目標:

- 33. 注射剤調剤の流れを概説できる。
- 34. 注射処方せんの記載事項 (医薬品名、分量、用法・用量など) が整っているか確認できる。 (技能)
- 35. 代表的な注射剤処方せんについて、処方内容が適正であるか判断できる。(技能)
- 36. 処方せんの記職に従って正しく注射剤の取りそろえができる。(知識・技能)
- 37. 注射剤(高カロリー栄養輸液など)の混合操作を実施できる。(技能)
- 38. 注射剤の配合変化に関して実施されている回避方法を列挙できる。
- 39. 毒薬・劇薬、麻薬、向精神薬などの注射剤の調剤と適切な取扱いができる。(技能)
- 40. 細胞毒性のある注射剤の調剤について説明できる。
- 41. 特別な注意を要する注射剤(抗悪性腫瘍薬など)の取扱いを体験する。(技能)
- 42. 調剤された注射剤に対して、正しい鑑査の実務を体験する。(技能)

《安全対策》

到達目標:

- 434. リスクマネージメントにおいて薬剤師が果たしている役割を説明できる。
- 44点 調剤過誤を防止するために、実際に工夫されている事項を列挙できる。
- 45⁴. 商品名の綴り、発音あるいは外観が類似した代表的な医薬品を列挙できる。
- 464. 医薬品に関わる過失あるいは過誤について、適切な対処法を討議する。(態度)
- 47^d. インシデント、アクシデント報告の実例や、現場での体験をもとに、リスクマネージメントについて討議する。(態度)
- 48点、職務上の過失、過誤を未然に防ぐための方策を提案できる。(態度)
- 49[△] 実習中に生じた諸問題 (調剤ミス、過誤、事故、クレームなど) を、当該機関で用いられるフォーマットに正しく記入できる。(技能)

(2) 医薬品を動かす・確保する

一般目標:

医薬品を正確かつ円滑に供給し、その品質を確保するために、医薬品の管理、供給、保存に 必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

《医薬品の管理・供給・保存》

到達目標:

- 1. 医薬品管理の流れを概説できる。
- 2△. 医薬品の適正在庫の意義を説明できる。
- 3. 納品から使用までの医薬品の動きに係わる人達の仕事を見学し、薬剤師業務と関連づけて 説明できる。
- 4. 医薬品の品質に影響を与える因子と保存条件を説明できる。
- 5△. 納入医薬品の検収を体験し、そのチェック項目を列挙できる。
- 64. 同一商品名の医薬品に異なった規格があるものについて具体例を列挙できる。
- 7. 院内における医薬品の供給方法について説明できる。
- 8. 請求のあった医薬品を取り揃えることができる。(技能)

《特別な配慮を要する医薬品》

到達目標:

- 94. 麻薬・向精神薬および覚せい剤原料の取扱いを体験する。(技能)
- 10点 毒薬、劇薬を適切に取り扱うことができる。(技能)
- 11. 血漿分画製剤の取扱いを体験する。(技能)
- 12⁴. 法的な管理が義務付けられている医薬品(麻薬、向精神薬、劇薬、毒薬、特定生物由来 製剤など)を挙げ、その保管方法を見学し、その意義について考察する。(態度)

《医薬品の採用・使用中止》

到達目標:

- 13. 医薬品の採用と使用中止の手続きを説明できる。
- 14、代表的な同種・同効薬を列挙できる。

(3)情報を正しく使う

一般目標:

医薬品の適正使用に必要な情報を提供できるようになるために、薬剤部門における医薬品情 報管理(DI)業務に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

《病院での医薬品情報》

到達目標: .

- 1. 医薬品情報源のなかで、当該病院で使用しているものの種類と特徴を説明できる。
- 2 院内への医薬品情報提供の手段、方法を概説できる。
- 34. 緊急安全性情報、不良品回収、製造中止などの緊急情報の取扱い方法について説明できる。
- 4. 患者、医療スタッフへの情報提供における留意点を列挙できる。

《情報の入手・評価・加工》

到游目標:

- 54. 医薬品の基本的な情報を、文献、MR (医薬情報担当者) などの様々な情報源から収集できる (技能)
- 6. DI ニュースなどを作成するために、医薬品情報の評価、加工を体験する。(技能)
- 7[△]. 医薬品・医療用具等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。(知識・技能)

《情報提供》

到達目標:

- 8. 医療スタッフからの質問に対する適切が報告書の作成を体験する。(知識・技能)
- 9. 医療スタッフのニーズに合った情報提供を体験する。(技能・態度)
- 10. 患者のニーズに合った情報の収集、加工および提供を体験する。(技能・態度)
- 11. 情報提供内容が適切か否かを追跡できる。(技能)

(4) ベッドサイドで学ぶ

一般目標:

入院患者に有効性と安全性の高い薬物治療を提供するために、薬剤師病棟業務の基本的知識、 技能、態度を修得する。

《病棟業務の概説》

到游目標:

- 1. 病棟業務における薬剤師の業務(薬剤管理、与薬、リスクマネージメント、供給管理など) を概説できる。
- 2. 薬剤師の業務内容について、正確に記録をとり、報告することの目的を説明できる。
- 3. 病棟における薬剤の管理と取扱いを体験する。(知識・技能・態度)

《医療チームへの参加》

到達目標:

- `4. 医療スタッフが日常使っている専門用語を適切に使用できる。(技能)
- 5. 病棟において医療チームの一員として他の医療スタッフとコミュニケートする。(技能・態度)

《薬剤管理指導業務》

到達目標:

- 6. 診療録、看護記録、重要な検査所見など、種々の情報源から必要な情報を収集できる。(技能)
- 7. 報告に必要な要素 (5W1H) に留意して、収集した情報を正確に記載できる (薬歴、服薬 指導歴など)。(技能)
- 8. 収集した情報ごとに誰に報告すべきか判断できる。(技能)
- 9. 患者の診断名、病態から薬物治療方針を把握できる。(技能)
- 10. 使用医薬品の使用上の注意と副作用を説明できる。
- 11. 臨床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。
- 12. 医師の治療方針を理解したうえで、患者への適切な服薬指導を体験する。(技能・態度)
- 13. 患者の薬に対する理解を確かめるための開放型質問方法を実施する。(技能・態度)

- 14. 薬に関する患者の質問に分かり易く答える。(技能・態度)
- 15. 患者との会話を通して、服薬状況を把握することができる。(知識・技能)
- 16. 代表的な医薬品の効き目を、患者との会話や患者の様子から確かめることができる。(知識・技能)
- 17. 代表的な医薬品の副作用を、患者との会話や患者の様子から気づくことができる。(知識・ 技能)
- 18. 患者がリラックスし自らすすんで話ができるようなコミュニーケションを実施できる。(技能・態度)
- 19. 患者に共感的態度で接する。(態度)
- 20. 患者の薬物治療上の問題点をリストアップし、SOAP を作成できる。(技能)
- 21. 期待する効果が現れていないか、あるいは不十分と思われる場合の対処法について提案する。(知識・技能)
- 22. 副作用が疑われる場合の適切な対処法について提案する。(知識・態度)

《処方支援への関与》

到達目標:

- 23. 治療方針決定のプロセスおよびその実施における薬剤師の関わりを見学し、他の医療スタッフ、医療機関との連携の重要性を感じとる。(態度)
- 24. 適正な薬物治療の実施について、他の医療スタッフと必要な意見を交換する。(態度)

(5) 薬剤を造る・調べる

一般目標:

患者個々の状況に応じた適切な剤形の医薬品を提供するため、院内製剤の必要性を翻識し、 院内製剤の調製ならびにそれらの試験に必要とされる基本的知識、技能、態度を修得する。

《院内で調製する製剤》

到達目標:

- 1. 院内製剤の必要性を理解し、以下に例示する製剤のいずれかを調製できる。(軟膏、坐剤、 散剤、液状製剤 (消毒薬を含む) など) (技能)
- 2. 無菌製剤の必要性を理解し、以下に例示する製剤のいずれかを調製できる。(点眼液、注射 液など)(技能)

《薬物モニタリング》

到達目標:

3. 実際の患者例に基づき TDM のデータを解析し、薬物治療の適正化について討議する。(技能・態度)

《中毒医療への貢献》

到達目標:

4. 薬物中毒患者の中毒原因物質の検出方法と解毒方法について討議する。(知識、態度)

(6) 医療人としての薬剤師

一般目標:

常に患者の存在を念頭におき、倫理観を持ち、かつ責任感のある薬剤師となるために、医療の担い手としてふさわしい態度を修得する。

到達目標:

- 1. 患者および医薬品に関連する情報の授受と共有の重要性を感じとる。(態度)
- 2. 患者にとって薬に関する窓口である薬剤師の果たすべき役割を討議し、その重要性を感じ とる。(態度)
- 3. 患者の健康の回復と維持に薬剤師が積極的に貢献することの重要性を討識する。(態度)・
- 4. 生命に関わる職種であることを自覚し、ふさわしい態度で行動する。(態度)
- 5. 医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守する。(態度)
- 6. 職務上知り得た情報について守秘義務を守る。 (態度)

(Ⅲ)薬局実習

一般目標:

薬局の社会的役割と責任を理解し、地域医療に参画できるようになるために、保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供、健康相談、医療機関や地域との関わりについての基本的な知識、技能、態度を修得する。

(1) 薬局アイテムと管理

一般目標:

薬局で取り扱うアイテム(品目)の医療、保健・衛生における役割を理解し、それらの管理 と保存に関する基本的知識と技能を修得する。

《薬局アイテムの流れ》

到達目標:

- 1. 薬局で取り扱うアイテムが医療の中で果たす役割について説明できる。
- 2. 薬局で取り扱うアイテムの保健・衛生、生活の質の向上に果たす役割を説明できる。
- 3. 薬局アイテムの流通機構に係わる人達の仕事を見学し、薬剤師業務と関連づけて説明できる

《薬局製剤》

到達目標:

- 4. 代表的な薬局製剤・漢方製剤について概説できる。
- 5. 代表的な薬局製剤・漢方製剤を調製できる。

《薬局アイテムの管理と保存》

到逢目標:

- 64 医薬品の適正在庫とその意識を説明できる。
- 74. 納入医薬品の検収を体験し、そのチェック項目(使用期限、ロットなど)を列挙できる。
- 8. 薬局におけるアイテムの管理、配列の概要を把握し、実務を体験する。(知識・技能)

《特別な配慮を要する医薬品》

到海目標:

94 麻薬、向精神薬などの規制医薬品の取扱いについて説明できる。

10点 毒物、劇物の取扱いについて説明できる。

11⁴. 法的な管理が義務付けられている医薬品(麻薬、向精神薬、劇薬、毒薬,特定生物由来 製剤など)を挙げ、その保管方法を見学し、その意義について考察する。(態度)

(2) 情報のアクセスと活用

一般目標:

医薬品の適正使用に必要な情報を提供できるようになるために、薬局における医薬品情報管理業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

《薬剤師の心構え》

到達目標:

1. 医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守する。(態度)

《情報の入手と加工》

到達目標:

- 8点 医薬品の基本的な情報源(厚生労働省、日本製薬工業協会、製薬企業、日本薬剤師会、卸など)の種類と特徴を正しく理解し、適切に選択できる。(知識・技能)
- 4△. 基本的な医薬品情報(警告、禁忌、効能、副作用、相互作用など)を収集できる。(技能)
- 5. 処方内容から得られる患者情報を的確に把握できる。(技能)
- 6. 薬胚簿から得られる患者情報を的確に把握できる。(技能)

2. 職務上知り得た情報について守秘義務を守る。(態度)

- 7△. 緊急安全性情報、不良品回収、製造中止などの緊急情報の取扱い方法を説明できる。
- 8△. 問い合わせに対し、根拠に基づいた論理的な報告書を作成できる。(知識・技能)
- 9△. 医薬品・医療用具等安全性情報報告用紙に必要事項を記載できる。(知識・技能)

《情報の提供》

到達目標:

- 10. 入手した情報を評価し、患者に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)
- 11. 入手した患者情報を、必要に応じ、適正な手続きを経て他の医療従事者に提供できる。(技能・態度)
- 124. 患者および医薬品に関連する情報の授受と共有の重要性を感じとる。(態度)

(3) 薬局調剤を実践する

一般目標:

薬局調剤を適切に行うために、調剤、医薬品の適正な使用、リスクマネージメントに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。

《保険調剤業務の全体の流れ》

到達目標:

- 1. 保険調剤業務の全体の流れを理解し、処方せんの受付から調剤報酬の請求までの概要を説明できる。
- 2. 保険薬局として認定される条件を、薬局の設備と関連づけて具体的に説明できる。

《処方せんの受付》

至1)達目標:

- 3. 処方せん (麻薬を含む) の形式および記載事項について説明できる。
- 4. 処方せん受付時の対応および注意事項(患者名の確認、患者の様子、処方せんの使用期限、 記載不備、偽造処方せんへの注意など)について説明できる。
- 5. 初来局患者への対応と初回質問表の利用について説明できる。
- 6. 初来局および再来局患者から収集すべき情報の内容について説明できる。
- 7△. 処方せん受付時の対応ができる。(技能・態度)
- 8△ 生命に関わる職種であることを自覚し、ふさわしい態度で行動する。(態度)
- 9△. 患者が自らすすんで話ができるように工夫する。(技能・態度)

10⁴. 患者との会話などを通じて、服薬上の問題点(服薬状況、副作用の発現など)を把握できる。(技能)

《処方せんの鑑査と疑義照会》

到達目標:

- 114. 処方せんが正しく記載されていることを確認できる。(技能)
- 124. 処方せんに記載された処方薬の妥当性を、医薬品名、分量、用法、用量、薬物相互作用などの知識に基づいて判断できる。(知識・技能)
- 13. 薬歴簿を参照して処方内容の妥当性を判断できる。(知識・技能)
- 14. 疑義照会の行い方を身につける。(知識・態度)
- 15. 疑義照会事例を通して、医療機関との連携、患者への対応をシミュレートする。(技能・ 態度)

《計数・計量調剤》

到達目標:

- 16△. 薬袋、薬札に記載すべき事項を列挙できる。
- 174. 処方せんの記載に従って正しく医薬品の取りそろえができる。(技能)
- 18△、錠剤、カプセル剤などの計数調剤ができる。(技能)
- 194. 代表的な医薬品の剤形を列挙できる。
- 204. 医薬品の識別に色、形などの外観が重要であることを、具体例を挙げて説明できる。
- 214. 代表的な医薬品の商品名と一般名を対比できる。
- 224、同一商品名の医薬品に異なった規格があるものについて具体例を列挙できる。
- 234 異なる商品名で、同一有効成分を含む代表的な医薬品を列挙できる。
- 24△、代表的な同種・同効薬を列挙できる。
- 254. 代表的な医薬品を色・形、識別コードから識別できる。(技能)
- 264. 一回量 (一包化) 調剤を必要とするケースについて説明できる。
- 274 一回最 (一包化) 調剤を実施できる。(技能)
- 28年、錠剤の粉砕、およびカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる。(知識・技能)
- 294. 散剤、液剤などの計量調剤ができる。(技能)
- 304. 調剤機器 (秤盘器、分包機など) の基本的取扱いができる。(技能)
- 314、 毒薬・劇薬、麻薬、向精神薬などの調剤と取扱いができる。(技能)
- 32△、特別な注意を要する医薬品(抗悪性腫瘍薬など)の取扱いを体験する。(技能)

《計数・計量調剤の鑑査》

到達目標:

334、調剤された医薬品に対して、鑑査の実務を体験する。(技能)

《服薬指導の基礎》

到遠月標:

- 84⁴. 適切な服薬指導を行うために、患者から集める情報と伝える情報を予め把握できる。(知識・技能)
- 35. 薬歴管理の意義と重要性を説明できる。
- 36. 薬歴簿の記載事項を列挙し、記入できる。(知識・技能)

- 37. 薬歴簿の保管、管理の方法、期間などについて説明できる。
- 384. 妊婦、小児、高齢者などへの服薬指導において、配慮すべき事項を列挙できる。
- 394. 患者に使用上の説明が必要な眼軟膏、坐剤、吸入剤などの取扱い方を説明できる。(技能)
- 40点 自己注射が承認されている代表的な医薬品を調剤し、その取扱い方を説明できる。

《服薬指導入門実習》

到達目標:

- 414. 指示通りに医薬品を使用するように適切な指導ができる。(技能)
- 42. 薬歴簿を活用した服薬指導ができる。(技能)
- 434. 患者向けの説明文書を使用した服薬指導ができる。(技能)
- 44. お薬手帳、健康手帳を使用した服薬指導ができる。(技能)

《服薬指導実践実習》

到遊目標:

- 45△、患者に共感的態度で接する。(態度)
- 46⁴. 患者との会話を通じて病態、服薬状況 (コンプライアンス)、服薬上の問題点などを把握できる。(技能)
- 474. 患者が必要とする情報を的確に把握し、適切に回答できる。(技能・態度)
- 49⁴. 入手した情報を評価し、患者に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)

《調剤録と処方せんの保管・管理》

到識目標:

- 50. 調剤録の法的規制について説明できる。
- 51. 調剤録への記入事項について説明できる。
- 52. 調剤録の保管、管理の方法、期間などについて説明できる。
- 53. 調剤後の処方せんへの記入事項について説明できる。
- 54. 処方せんの保管、管理の方法、期間などについて説明できる。

《調剤姆酬》

到達目標:

- 55. 調剤報酬を算定し、調剤報酬明細糖(レセプト)を作成できる。(技能)
- 56. 薬剤師の技術評価の対象について説明できる。

《安全対策》

到達目標:

- 57. 代表的な医療事故訴訟あるいは調剤過誤事例について調査し、その原因について指導薬剤 師と話し合う。(知識・態度)
- 584. 名称あるいは外観が類似した代表的な医薬品を列挙できる。
- 59⁴、特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、抗糖尿病薬など)を列挙できる。
- 604. 調剤過誤を防止するために、実際に工夫されている事項を列挙できる。
- 614. 調剤中に過誤が起こりやすいポイントについて討議する。(態度)

- 624 過誤が生じたときの対応策を討議する。(態度)
- 634. インシデント、アクシデント報告の記載方法を説明できる。

(4) 薬局カウンターで学ぶ

一般月標:

地域社会での健康管理における薬局と薬剤師の役割を理解するために、薬局カウンターでの 患者、顧客の接遇に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

《患者・顧客との接遇》

到達目標:

- 1. かかりつけ薬局・薬剤師の役割について指導薬剤師と話し合う。(態度)
- 2. 患者、顧客に対して適切な態度で接する。(態度)
- 3. 疾病の予防および健康管理についてアドバイスできる。(技能・態度)
- 4. 医師への受診勧告を適切に行うことができる。(技能・態度)

《一般用医薬品・医療用具・健康食品》

到達日標:

- 5. セルフメディケーションのための一般用医薬品、医療用具、健康食品などを適切に選択・ 供給できる。(技能)
- 6. 顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる。

《カウンター実習》

到達目標:

- 7. 顧客が自らすすんで話ができるように工夫する。(技能・態度)
- 8. 顧客が必要とする情報を的確に把握する。(技能・態度)
- 9. 顧客との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集できる。(技能・態度)
- 10. 入手した情報を評価し、願客に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)

(5) 地域で活躍する薬剤師

一般目標:

地域に密着した薬剤師として活躍できるようになるために、在宅医療、地域医療、地域福祉、 災害時医療、地域保健などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

《在宅医療》

到達目標:

- 1. 訪問薬剤管理指導業務について説明できる。
- 2. 在宅医療における医療廃棄物の取り扱いについて説明できる。
- 3. 薬剤師が在宅医療に関わることの意義を指導薬剤師と話し合う。(態度)

《地域医療・地域福祉》

到達目標:

4. 病院薬剤師と薬局薬剤師の連携の重要性を説明できる。

- 5. 当該地域における休日、夜間診療と薬剤師の役割を説明できる。
- 6. 当該地域での居宅介護、介護支援専門員などの医療福祉活動の状況を把握できる。(知識・ 技能)

《災害時医療と薬剤師》

到達目標:

7. 緊急災害時における、当該薬局および薬剤師の役割について説明できる。

《地域保健》

到達目標:

- 8. 学校薬剤師の職務を見聞し、その役割を説明できる。
- 9. 地域住民に対する医薬品の適正使用の啓発活動における薬剤師の役割を説明できる。
- 10. 麻薬・覚せい剤等薬物乱用防止運動における薬剤師の役割について説明できる。
- 11. 日用品に係る薬剤師の役割について説明できる。
- 12. 日用品に含まれる化学物質の危険性を列挙し、わかりやすく説明できる。
- 13. 誤飲、誤食による中毒および食中毒に対して適切なアドバイスできる。(知識・技能)
- 14. 生活環境における消毒の概念について説明できる。
- 15. 話題性のある薬物および健康問題について、科学的にわかりやすく説明できる。

(6) 薬局業務を総合的に学ぶ

一般目標:

調剤、服薬指導、患者・顧客接遇などの薬局薬剤師の職務を総合的に実習する。

《総合実習》

到達目標:

- 1. 薬局業務を総合的に実践する。
- 2. 患者の健康の回復と維持に薬剤師が積極的に貢献することの重要性を感じ取る。(態度)
- 3. 薬が病気の治癒、進行防止を通して、病気の予後と QOLの改善に貢献していることを感じ とる。(態度)

(1) 关膀夫百争刑子百刀咐

(1) 事前学習を始めるにあたって

_				場所			• 人	的資	孤		物的資源(例	時間
5	到達目標	学習方法	教室	セミナー	英智蜜	教員	補助者	病院 薬剤師	競局 緊加師	その他	示)	*4 let
E:	剤師業務に注目する》											
1	◎医療における薬剤師の使命や倫理など について概説できる。	ば推	0			1			<u> </u>		プリント・ビデオ	90 x l
_	◎医療の現状をふまえて、薬剤師の位置づけと役割について振説できる。	游縣	0			1			Ĺ		ブリント・ビデオ	90 x 1
3	◎薬剤師が行う業務が患者本位のファーマシューティカルケアの概念にそったものであることについて対議する。	演習(10名ず つのSGD)		0		2	実法実 習施了 学生5	2	2		ОНР	90 x 2
	ーム医療に注目する》									,		
4	◎医療チームの構成や各構成員の役割、 連携と責任体制を説明できる。	演集	0			1			<u> </u>		プリント・ビデオ	90 x 1
	◎チーム医奴における薬剤師の役割をU 明できる。	游技	0			1			Ŀ		プリント・ビデオ	90 x l
_	@自分の能力や責任範囲の限界と他の医療従事者との連携について討議する。 (態度)	流習 (10名ず つのSGD)		0		2	実務実 習修了 学生5	2	2	医師1・ 看護師1	онр	90 x 2
£	薬分業に注目する》							,		· · · · · ·		
,	◎匹薬分業の仕組みと意義を概説できる。	洪義	O	1		1					プリント・ビデオ	90 x 1

				場所		1	人	的资	奴		物的资源(例	時間
S	到達日原	学習方法	教室	セミナー	兴智 堡	教員	補助者	前院 悲劇師	い い い が が が が に い に い に い に り に り に り に り に り に り に り	その他	示)	19119
(処	方せんの基礎》											
201	◎処方せんの让的位置づけと機能について説明できる。◎処方オーダリングシステムを概説できる。	旗锭	0			1						90 x 1
202	◎処方せんの種類、特徴、必要記載事項 について説明できる。	講絵・庾智	0	0		1	美務美智 修了学生 5				様々な処方せん例	90 x i
203	◎調剤を注的視拠に基づいて説別できる。 ◎代収的な処方せん例の鑑立における注意点を説明できる。(技能)	講経・削習	Ó	0		1.	與胡芙賀 住了华生 5				版々な処方せん例	90 x 2
204	◎不適切な処方せんの処置について説明できる。	講義・演習	0	0		1.	实務其習 修了学生 5		1		間違いを含む 処方せん例	90 x 2
《医	薬品の用法・用量》								,			
205	◎代表的な医薬品の用法・用量および投 与計画について説明できる。	選発	Ö			1	<u> </u>	L				90 x 2
206	◎患者に適した剤形を選択できる。 (知 域・技能)	は我・演習	0	, 0		1	兴初兴智 修了学生 5				プリント・実薬	90 x 2
5207	◎患者の特性 (新生児、小児、高齢者、 妊婦など) に適した用法・用量について 説明できる。◎患者の特性に適した用量 を計算できる。 (技能)	講義・演習	0	0		1	実務決型 修了学生 5				プリント	90 x 2
5208	②病態(腎、肝疾患など)に適した用量 設定について説明できる。	講義・演習	0	0		1	英務実で 经了学生 5				プリント	90 x 2
《服	変指導の基礎》										· / -	
\$209	◎服薬指導の意義を法的、倫理的、科学 的根拠に近づいて説明できる。	读获	0	<u> </u>	L	1			<u> </u>			90 x 1
《調	剤室蒸發入門》					,	· · · ·		т			
\$210	回代支例が処方せた例の設立をシミュレートできる。 (技能) 優处方せん例に 従って、計数調剤をシミュレートできる。 (技能) 優処方せん例に 対って、計数調剤をシミュレートできる。 (技能) 優別方さん例に行って、 計量関別をシミュレートできる。(技 能) 優別別された医薬品の鑑査をシ ミュレートで表る。(技能)	実習 (50名ずつ)			0	2	实济实了 修了学生 5	Ė			処方せん・実薬・ 薬袋・環準調剤機器	90 x 1
 \$211	のれませんの総者の言葉とその必要件に	演習 (10名ず つのSGD)		0		2	実状实 修了学				онр	90 x

(3)	疑義照会		*							特に記げ	裁しない場合の学生	数11200名
		w. mm . t . ht.		場所				的資			物的資源(例示)	時間
.S	到途目標	学習方法	教室	セミナー	実習室	数員	補助者	病院 聚剂師	問馬 斯剤師	その他	120 H 7 JQ 10K (D 9 75 7)	P4 144
栞	護照会の意義と根拠》								,		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
01	◎疑義照金の常義について、法的投機を含めて説明できる。	漢義	0		·	1				法律家 1名		90 x I
102	◎代表的な配合変化の組合せとその理由を説明できる。 ◎ 命定の配合によって生じる医薬品の性状、外膜の変化を観察する。 (技能)	実習 (50名ずつ)		0		2	実務実 習修丁 学生5				配合注意・禁忌の英 薬	90 x 3
	◎不適切な処方せん例について、その理由を説明できる。	挑鞋	0			1		1	1	<u> </u>	事故例を示す資料	90 x 2

《疑執	照会入門)										*	
5304	◎処方せんの問題点を解決するための薬 剤師と医師の連携の重要性を討議する。	演習(10名ず つのS G D)	0	0		2	実務実 習修了 学生5	1	1	医倾1名	онр -	90 x 3
5305	◎代表的な医薬品について効能・効果、 用法・用食を列挙できる。◎代表的な 医薬品について替告、禁忌、副作用を 挙できる。◎代表的な医薬品について 相互作用を分辨できる。◎疑熱無会の流 れを説明できる。。	译 卷	0			ı			-			90 x 2
5306	◎代表的な医薬品について効能・効果、 用法・用表を列挙できる。②代表的な 医薬品について著告、禁忌、割作用を 挙できる。②代表的な医薬品について 相互作用を列挙できる。②疑禁照会をシ ミュレートする。(技能・加度)	実習・演習 (10名ずつの S G D)		0	0	10	実務実 習修了 学生10				不適切な処方せん 例・患者情報を示す 資料	90 x 8

(4) 医薬品の管理と供給

		, · ·				,				特に記	敬しない場合の学生	数は200名。
LS	到達目標	学習方法		場所	,			的資			物的資源	時間
			教室	セミナー	実習室	数具	補助者	消院 薬剤師	開馬 遊剤師	その他	(例示)	MA INT
《医	薬品の安定性に注目する》			,	, <u>.</u>		,					
5401	◎医薬品管理の意義と必要性について説明できる。	详義	0		-	1					ビデオ	90 x 1
S402	◎代表的な剤形の安定性、保存性について説明できる。	洋義	0			1					ビデオ	90 x 1
《符	別な配慮を要する医薬品》							<u> </u>	·	L		
5403	◎等薬・刺媒の管理および取扱いについて説明できる。◎麻薬、向精神質などの管理を放い(投薬、廃薬など)について説明できる。	冰級	0			1					ピデオ	90 x f
5404	◎血駅分面製剤の管理および取扱いについて説明できる。◎輪血用血液収剤の管理および取扱いについて説明できる。	1.K 载	0			ı					ビデオ	90 x 1
\$405	◎代表的な生物製剤の種類と適応を説明できる。◎生物製剤の管理と取扱い(投版、尿素など)について説明できる。	以稅	0			1.					ビデオ	90 x 1
S406	◎雄藤・劇談の管理および成集かについて観明できる。◎ 血球分配別料の管理および私 は別ないについて限明できる。◎始点 用血液製剤の管理および取扱いについて は別できる。◎代表的定生物製剤の管理 と適応を説明できる。◎性の製料の管理 と表し、ど表し、「とついて以 明できる。◎作成の境かにとっこした。 いて、「ない、「ない、」、「とついて以 明できる。◎作成の境かにシミュレートできる。②作成の境かにかった。	実習 (50 名 ずつ)			0	2	実施实 別能丁 学生5	•			· 各種類物見本	90 x 3
S407	◎代表的な放射性医薬品の種類と用途を 説明できる。◎放射性医薬品の管理と取 扱い(投票、廃業など)について説明で さる。	建 森	0			1					ビデオ	-90 x 1
(44	剤化の基礎》			J								
S'408	回院内製剤の意義、講製上の手続き、品 質管理などについて説明できる。	18 蕤	.0			1		1			ビデオ	90 x (
5409	◎原局駅割の意稿、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。	济袋	0			· l			1		ビデオ '	90 x 1
5410	◎代表的な限内製剤を調製できる。(技能)	実習 (50名ずつ)	·		0	2	实務與 習修丁 学生5				MMH	90 x 3
84 11	◎無面偽作の原理を説明し、基本的な無 直接作を実施できる。 (知識・技能) ◎抗悪後腫瘍剤などの取扱いにおけるケ ミカルハザード回避の基本的手技を実施 できる。(技能)	実習 (50名ずつ)			0	2	实装实 習修了 学生5				クリーンベンチ・ セーフティーキャビ ネット	90 x 6
《注	 打剤と輸液》					l	·i		ل		l	
	◎注射剂の代表的な配合変化を列指し、 その原因を説明できる。 ◎代表的な配合変化を検出できる。 (技能)	真習 (60名 す つ)			0	2	尖毯夹 初修了 学生5				配合注意・禁忌の注 対剤と精液	90 x 3
S413	◎代表的な輪液と基質栄養剤の類類と適応を提明できる。 ◎体内電解質の過不足を判断して構正できる。 (技能)	実習 (50名ずつ)			0	2	実務実 習施了 学生5				配合注意・禁忌の注 射剤と輸液	90 x 3
《消:	8薬》				·							
5414	③代表的な消電薬の用途、使用過度を誤明できる。 ◎情器薬調剤時の注意点を 説明できる。	冰袋	0			1					ビデオ	90 x 1

(5) ソスクマホーンノン

(5) ソスクマホーングント									特に記録	ほしない扱合の学生	数は200名。
				場所			人	的質	源		物的資源(例	時間
S	到違目標	学習方法	被宣	セミナー	宾密室	敬真	捕卵者	奶烷 蒸煮師	明局 基前師	その他	示)	
安	全管理に注目する》											
01	◎薬剤師業務の中で起こりやすい事故事 例を列挙し、その原因を説明できる。	读義	0			· 1						90 x 1
02	◎誤りを生じやすい投票例を列準できる。	焊接	0			I						90 x I
03	◎院内成集の回避方法について説明できる。	冰袋	0	<u> </u>		l	<u> </u>		<u> </u>		スライド・ビデオ	1 x 00
D)	作用に注目する》											
04	◎代表的な医薬品の副作用の初期症状と 検査所見を具体的に説明できる。	详義	0			1					スライド・ビデオ	90 x 2.
	◎代表的な医薬品の副作用の初別症状と 検査所見を具体的に説明できる。	旗羽		0		2	実務案 習修丁 学生5				ОНР	90 x 3
IJ.	スクマネージメント入門》										 	
06	◎試りを生じやすい調利例を列益できる。◎リスクを回避するための具体策を 提案する。(ME)	演習(10名ず つのSGD)		0		2	実務实 習修丁 学生5	1	1		онр	90 x 3
07	◎事故が起こった場合の対処方法について提案する。(値度)	演習(10名ず つの S G D)		0		2	兴族实 智能丁 学生5	1	1		онр	90 x 3

6) 服逐指漢人風者懦報

		276 mg -t- 35-		場所			人	的質	额	ļ	物的资源(例	, uarii
LS.	到遼目標	学習方法	教室	セミナー	尖智宜	放員	插购者	紹院 変剤師	明局 認前師	その他	示)	whin
服	薬指導に必要な技能と修度》											
501	◎患者の基本的権利、自己決定権、インフォームドコンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。	講義	0			1				法律家1 名 CRC1 名		90 x 1
602	◎代表的な医療品の服薬指導上の注意点 を列挙できる。◎代表的な疾患において 注意すべき生活指導項目を列挙できる。	炸艇	0			1					•	90 x 2
603	◎インフォームド・コンセント、 年級税 済などに配信する。 (施度) ◎ 透明 登集を遊び、 適切な手順を遂て展開指導 する。 (技能・随度) ◎ 医質品に不 安、 版状郎を持つ期由 を顕彰し、それを 除く努力をする。 (知道・節度)	減翌 (ロール プレイ)	0			2	実務実 習修了 学生5			SP1名	ビデオカメラ	90 x 2
604	◎患者接過に限し、配慮しなければならない性意点を列挙できる。	14.英	0			1				SP1名	ビデオカメラ	90 x 1
(1)	者情報の重要性に注目する》											
505	「御飯試括店に必要な出書情報を列策できる。 ②思考背景、情報(コンプライアンス、基準、管報の、護師など)を把握できる。 (技能) の医師、希望師などとの情報の共和化の重要性を认明できる。 ② 患者後逃に以し、配達しなければならない。 はいますまを別かできる。	訴復・演習	0			2	实務实 智能丁 学生5				,	90 x 3
《服	蒸指導入門》	,		·			,					
606	回代表的な医薬品について、適切な原及 技術ができる。 (知識・技能) 回れ感的 制度で患者インタビューを行う。 (技能 能・無度) 息必者特殊に配した原設情 導ができる。 (技能) 回代表的な虚例に ついての服業指導の内容を適切に記録で きる。 (技能)	演習(10名す つのSGD及 びロールプレ イ)	0.	0		10	実務共 習修了 学生10	ı	1.			90 x 6

(7) 事前学習のまとめ

	334 779 al- 34		場所			,丫	的資			物的资源(例	時间
LS'到達目標	学習方法	教室	セミナー	実習室	数員	補助者	病院 変剤師	原馬 薬剤師	その他	示)	M-2-(n)
《総合実習》											
●代表的な処方せと例の搭載を とができる、(社能) 回旋線照金 ミュレートする、(技能) 風域 原産! サートでも、(技能) 単立 は では できる。 トできる、(技能) 単二 では できる。 では (技能) 単二 できる。 変を シミュレートで 表 素者背景に配慮した 展棄指導がで (技能)	をシ ②処方 ユレー 所に でき 気の症 (50名ずつ)			0	2	宾窃宾 習能了 学生5	2	2		処方せん・英段・ 変 袋・様望調所機器	90 × 10

(Ⅱ)病院実習方略 (1) 病院調剤を実践する

				7			n 4		- 子生妖!	1 ME XX IC	390 84 73	
LS	到達目標(SB0s)	学習方法	蒸剂部	場所 網棋· 外来	その他	指導 薬剤師	的資源 補助者	教員	物的資源 (例示)	時間	患者との 関わり	備考
《病院	調剤業務の全体の流れ》											
н101	◎ 思考の診療温建に同行し、その体験を通して診 源システムを概説できる。◎病院所内での患者情報 の流れを図式化できる。◎病院所所属する医療ス タッフの膜極名を列挙し、その業務内容を指互に 関連づけて説明できる。◎生命に関わる職種であ ることを自覚し、ふさむしい態度で行動する。◎ 医療が担い手が守るべき倫理規範を設明できる。 ◎職務上知り得た情報について守設義務を守る。	説明・見学			病院全体	1		l' 注1	プリント・ OHPなど	90 x 2		
H102	③薬剤部門を構成する各セクションの業務を体験し、その内容を相互に関連づけて説明できる。⑤ 処方せん(外来、入院基考を含む)の受付から患者への医薬品交付、服薬指導に至るまでの流れを就覚できる。⑥病院薬剤師と薬局素剤師の連携の重整性を説明できる。	説明·見学	0			1				90 x 2		
	(・計量調剤)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						,			<u>,</u>	
H103	◎処方せん(麻薬、注射剤を含む)の形式、種類 および記載事項について説明できる。	説明	0			1	ļ			90 x 1		
HIDA A	◎処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・ 用量など)が整っているか確認できる。@代表的 な処方せんについて、処方内容が適正であるか判 断できる。◎製歴に基づき、処方内容が適正であ るか判断できる。	実習	٥			1		注1		90 x 3		
	◎適切な疑義照会の実務を体験する。	演習・	0	L		1	医師1	1 注1		90 x 2		
H106⊿	◎ 契袋, 契扎に記載すべき事項を列挙し、記入できる。	实智	0			1				90 x 2		
н107⊿	◎処方せんの記載に従って正しく医薬品の取りを ろえができる。(技能) ◎緩和、カブセル剤の計 数調剤ができる。(技能) ◎緩和激敵を防止する ために、実際に工夫されている可収を別値できる。 ②代表的な医薬品の剤粉を利剤できる。②代表的な医薬品を色・形、環別コードから虚別できる。 ③(技能) ②医薬品の識別に色、形などの外級 が重度であることを、具体例をが行て説明できる。 ③性炎的な医薬品をと、関係例をが行て説明できる。 ③性炎的な医薬品をの、同一有効成分を含む代表的な医薬品を列離できる。	尖褶	0			2		1 注1		90 X 20		
H108⊿	◎海薬・刺薬、麻薬、向精神薬などの調剤ができる。(技能)	野実	o.			1				90 x 1		
H109⊿	○一回録(一句化) 別制の必照件を判断し、事施	習実	0			. 1				90 x 1		
H110∠	○ 性剤、液剤などの計量調剤ができる。(技能)○ 調剤機器(秤盤器、分包機など)の基本的な取扱いができる。(技能)	尖智	0			2		1 注1		90 x 15		
H111∠	◎細胞設性のある医薬品の関剤について現明できる。◎特別な住意を要する医薬品(抗態性細瓜薬など)の取扱いを体験する。(技能)	説明·演響	0			. 1				90 x 2		
H112∠	◎疑剤の粉砕、およびカブセル剤の開封の可否を 判断し、実施できる。(知識・技能)	災體,	0		_	1		<u> </u>		90 x 1	<u> </u>	ļ
H113∠	◎ 調剤された医薬品に対して、遅近の実務を体験 する。 (技能)	說明:演習	0			1	<u> </u>	<u> </u>		90 x 2		J
《服》	及指·班》	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		.,		,				,		
H114∠	「放、交付できる。(知識・技能)	説明·演習· 実體	10			1		注1		90 x 5	0	
H115∠	◎思者に使用上の説明が必要な眼軟膏、坐剤、吸入剤などの取扱い方を説明できる。	上 実習	0			+1.				90'x 2	0	
H116∠	1の白己注射が近辺 されている仕事的が医療品を改	説明·演習· 実置	0			1		<u> </u>		90 x 2	0	
H117∠	◎お課受け能し窓口において、場別の服用方法 保管方法および使用上の住事について適切に説別 できる。◎期格する効果が充分に現れていない か、あるいは即作用が設われる場合のお聚受け被 し窓口における適切な対処法について過聚する。 (知識・趣度)	演 想· 卖智 SGD	0			1		1 注1	OHPなど	90 × 10	0	

学生数は1施設に5名以内

1. 以社出	T F19 R19 F19 #										
H118	◎注射剤調剤の流れを概説できる。	説明	0			1				90 x 1	
H119	◎注射処方せんの記録事項(医薬品名、分位、用法・用量など)が整っているか確認できる。(技能)◎代表的な注射潮処方せんについて、処方内容が適正であるか判断できる。(技能)	安習	0			1		1 注1		90 x 5	
H120	◎適切な疑義照会の実務を体験する。 (技能)	演習	0	Ī	ŀ	i	医師1	1 注1		90 x 2	
H121	◎処方せんの記載に従って正しく注射剤の取りそろえができる。 (知識・技能)	実習	0			2				90 x 10	
	◎注射剤(高カロリー栄養・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	奥智	0			2		i 注1		90 x 10	
	◎ 毒薬・刺薬、麻薬、向精神薬などの注射剤の調剤と適切な取扱いができる。(技能)	类智	0			1				90 x 1	
H124	◎神胞症性のある注射剤の調剤について説明できる。◎特別な注意を要する注射剤(抗應性腫瘍炎など)の吸扱いを体験する。(技能)	説明·演習	0			. 1				90 x 2	
H125	◎調剤された注射剤に対して、正しい遺産の実務 を体験する。(技能)	説明·演習	0			1				90'X2	
《安全	対策》										
H126⊿	⑤リスクマネージメントにおいて顕初師が果たしている役割を説明できる。◎阿剤過酸を防止するために、実際に工夫されている事項を列請できる。◎商品の服り、発音あるいは外側が類似した代表的な医療品を列挙できる。	説明·演習	0	0		1				' 90 x 2	
H127⊿	◎医栗品に関わる過失あるいは過度について、適切な対処性を関係する。 (施度) @インシデント、アクシデント 観音の表例や、現場での保険をもとに、リスクマネージメントについて対能する。 (施度) ◎職務上の過失、過源を未然に防ぐための方策を追案できる。 (施度) ◎異常中に生した諸問題 (調別ミス、過級、事秋、クレームなど) を、当該健関で用いられるフォーマットに正しく記入できる。 (技能)	SGD	0			1	,	1 注1	OHFなど	90 x 2	

注1 敬負の参加が望ましい。

(2) 医薬品を動かす・確保する

				出所			的资源		物的货额		患者との	
LS	到達目標 (SBOs)	学習方法	災刑部	招抜・ 外来	その他	招導	植奶岩	数員		時間	श्रुक्त क्षर्	信号
《医菜	品の管理・供給・保存》											
H201⊿	◎医薬品管理の流れを假説できる。◎医薬品の適 正在単の意義を説明できる。◎結品から使用まで の医薬品の動きに係わる人選の仕事を見学し、薬 剤卵業務と関連づけて説明できる。	說明·見学	0		変の保 行され ている 場所	2	٠			90 X 2		
	◎医薬品の品質に影響を与える因子と保存条件を 説明できる。	説明·尖智	0			1 .				90 x 2		
H203⊿	◎納入医薬品の検収を体験し、そのチェック収目を列撃できる。◎同一商品名の医薬品に異なった 規格があるものについて具体例を列挙できる。	説明・演習	0			1				90 X 3		
	●院内における医薬品の供給方法について説明できる。●領水のあった医薬品を敗り揃えることができる。(技能)	説明·实習	0			1		1 注1		90 X 3	,	
《特別	りな配慮を要する医薬品》							L			<u></u>	
н205⊿	◎ 停稟・向精神要および覚せい滑原料の取扱いを体数する。 (技能) ◎ 谐薬、 南原を違切に喰り扱っことができる。 (技能) ◎ 血銀分面吸利の吸扱いを体験する。 (技能) ◎ 金建分面吸利の吸扱いを体験する。 (技能) ◎ 全治的な管理が養務付けられている医薬品(廃薬、向剤神薬、 刺薬、 毒質、 物定生物由来型剤など)を挙げ、その保管方法を見学し、そのな液について考済する。 (能度)	説明·実習	0			. 1		1 注1		90 X 3		
《医翼	医品の採用・使用中止》					·		J	I		L	
H206	◎医薬品の採用と使用中止の手続きを説明できる。 ◎代表的な同様・同効薬を列站できる。	説明·演習	10			ı	T	i ⊯ı	OHP to Y	90 X 1		

注1 数量の参加が望ましい。

(3) 情報を正しく使う

	<u> </u>								学生数1	は1施設に	.5名以内	
	Table to be done a	Name ()		場所			的資源		物的資源		多米との	
LS	到達目標(SB0s)	学習方法	蒸剂部	州棟 外来	その他	接導 聚剂師	補助者	數員	(例示)	時間	May	備考
《病》	えでの医薬品情報》											
	◎医薬品情報源のなかで、当該病院で使用しているものの種類と特徴を説明できる。◎焼内への医薬品情報提供の手段、方法を概取できる。◎景島 安全性情報、不良品回収、製造中止などの緊急所報の取扱い方法について説明できる。◎患者、医薬メタッフへの情報提供における留意点を列挙できる。	说明	0			1		•	プリン ト・コン ピュータ	90 x 1		
《情報	【の入手・評価・加工》							-				
н302∠	◎医薬品の基本的な情報を、文献、MR(医薬情報 担当者)などの様々な情報源から収集できる。 (技能)	演習·実習	0			1	MR1		プリン ト・コン ピュータ	90 x 10		副作用、 及義服会 など
H303	◎DIニュースなどを作成するために、医薬品情報 の評価、加工を体験する。 (技能)	実習	Ö			2`		1	コン ピュータ	90 x 10		
H304⊿	◎医薬品・医療用具等安全性情報報告用紙に、必 要事項を記載できる。 (知識・技能)	演習	0			1			プリン ト・報告 - 用紙	. 90 x 3		
《情報	提供》											
H305	◎医療スタッフからの質問に対する適切な報告告の作成を体験する。(知識・技能)◎医療スタッフのニーズに合った情報提供を体験する。(技能・規度)	実習	0	0		2			プリン ト・コン ピュータ	90 x 10		-
	◎患者のニーズに合った情報の収集、加工および 促供を体験する。 (技能・心度)	実習	0	0		2			プリント	90 x 3	0	
	◎情報提供内容が適切か否かを追跡できる。 (技能)	灾習		0		1				90 x 3		

(4) ベッドサイドで学ぶ

	 		-						学生数1	ま1 施設に	5名以内	
LS	到遊目標(SBOs)	学習方法	 	<u>場所</u>			的質問		物的資飯	時間	お告との	借头
ĻU	5) 10 E 10 (ODOS)	子自力伍	英州部	病康· 外来	その他	指導 薬剤師	植肋者	教員	(例示)	h-1, (m)	関わり	W-5
《病柱	(業務の概説)											L
H401	◎前條業務における薬剤師の業務(薬剤管理、 薬、リスクマネージメント、供給管理など)を順 説できる。 ◎薬剤師の業務内容について、正確に 記録をとり、報告することの目的を説明できる。 ◎前條における薬剤の管理と取扱いを体験する。 (知識・技能・触度)	説明・見学	0	0		1			プリン ト・OHP	90 x 5	0	
《医疗	メチームへの参加》		·			1	I				I	L
н,402	◎医療スタッフが日常使っている専門用語を適別に使用できる。(技能)®病様において医療チームの一風として他の医療スタッフとコミュニケートする。(技能・修成)	実習		0		z	医師1. 岩護師1	*.		90 × 10		60min x 湖2回 x 透開×23 棟 注2
《來》	河管理指導業務》	L		<u> </u>	L	L			اا ·		ا	L
H403	●診療は、滑騰記録、重要な検査所見など、後々の情報協から必要な情報を収集できる。 (技能) ●報告に必要な実験(SVIII)に適宜して、収集した情報を正確には載する (興應 原型排析原むと)。 (技能) ●以4年した情報とに誰に報告する。対策)●患者の診断名、別能から棄物情服方針を把握できる。 (技能)	灾智		0		2	医551· 滑镀師1			90 x 18		50min x 週3回 x 週間×25 体 注2
H404	◎使用医薬品の使用上の注意と副作用を説明できる。 ◎ 矯床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。	実習	0	0		2				90 x 8		90min x 週1回 x 4週間× 網模 注

H405	◎医師の抽扱方針を理解したうえで、患者べの適適 切な履実指述を体験する。(技能・施度)の単方 力を履実指述を体験する。(技能・施度)の単立 の実に対する理解を確かめるための開放型する の質問に分かり易く答える。(技能・施度)の受問 できる。(技能・通及・記載するのの質問に分かり易く答える。(現実 大弦・施度)。②感 できる。(知理、技能)の代表的な医薬のあるこ して、(複数 といまするのかるこ とができる。者との会話や理常の優代表のかるこ のが得して、他のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、 とができる。者との会話や理常の単常の単常の必ら に対して、のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	突習		0		2		-		90 x 18	0	60min x 透3回 x 4 透加×2病 棟 注2
H406	◎患者の薬物治療上の問題点をリストアップし、 SOAPを作成できる。(技能)	突習	0	0		2	遊師1・ 滑護師1			90 x 15		60min x 週3回 x 4週間×2 病性 注2
H407	◎明待する効果が現れていないか、あるいは不十 分と思われる場合の対処法について提案する。 (知識・技能) ◎別作用が疑われる場合の 適切な対処法について提案する。(知識・施度)	実習または 演習	0			1				90 x 2		
《処力	「支根への関与》						-					
H408	◎冶級方針決定のプロセスおよびその実施における新州研の関わりを見学し、他の医療スタップ、医療機関との連携の重要性を感じとる。(備度)の適正な課物情景の実施でいて、他の医療スタッフと必要な意見を支換する。(権度)	見学·SGD		0	0	2	医師1 海護師1	1 注1	プリン ト・OUP	90 x 5		

注1 数員の参加が望ましい。 注2 発抗の異なる疾患の患者が入院する病嫌で、それぞれ4週間を目安に患者を担当することが望ましい(例:内科疾患と外科疾患、慢性疾患と 急性疾患など)

(5) 薬剤を造る・調べる

(0)	XMICZO W								学生数1	土1 施設に	5名以内	
		374 777 -4-34		場所			的資源		物的豆腐	時間	事者との	偏考
LS	到遊目標(SBOs)	学習方法	蒸剂部	利棟 外来	その他	指導 変剤師	補助者	姓員	(例示)	M44 [11]	Mabb	1/6 45
《院内	りで開設する製剤》	,					,		,			
	◎院内製剤の必要性を理解し、以下に例示する製剤のいずれかを調製できる。(林胥、坐剤、散剤、彼状製剤(消毒限を含む)など)(技能)											
H502	◎新油製剤の必要性を理解し、以下に例示する製剤のいずれかを調製できる。(点眼液、注射液など)(技能)		0			1				90 × 20		
《菜4	カモニタリング》											
	◎実際の患者例に基づきTMのデータを解析し、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	英智または 演習	0		o'	1			OHP、プ リント	96×5		
《中書	皐医族への貢献》			,			,				,	
H504	◎薫物中春患者の中春原因物質の検出方法と解证 方法について討議する。(知識、態度)	演習、SGD	0		0	1			蘭道贤 料、プリ ント	90 × 2		選択

(6) 医療人としての薬剤師

学生数は	1	施設	ı	5名	Ü	内

7.0	到達目標(SBOs)	学習方法		场所			的資源		物的衰额	時間	患者との	備守
LS	到達日保(5805)	子百万匹	英剂部	病核・ 外来	その他	指導 薬剤師	補助者	教員	(例示)	s.A. hil	関わり	y40 - 3
	②患者および医知品に関連する情報の投受と共有 の重要性を感じとる。(加度)③患者にとって裏 に関する窓でかる表現前の現た性べき役割を付 能し、その重要性を感じとる。(施度)③患者の 能し、その重要性を構造する。(施度)③生命に関わる との重要性を対路する。(施度)③生命に関わる との重要性を対路する。(地度)○生命に関わる 下る。(施度)③医療の担い手が守るべき倫理規 領を遵守する。(施度)④既務上知り得た情報に 行っいて守役裁務を守る。(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	SGD			0	2		1 注1	OHP	90 x 3		

注1 数員の参加が望ましい。

(Ⅲ)薬局実習方略 (1)薬局アイテムと管理

	XIII) IVALEE				.•			学生	数は1施設2名	以内
LS	到途目標	学習方法	場所		的資源		物的資源		患者、頭客と	
	<u> </u>	子自力压	薬周	指導薬剤師	補助者	数員] (例示)	納加	の関わり	備考
《薬周	アイテムの流れ》			-						
P101	◎薬房で取り扱うアイテムが医療の中で果た す役割について説明できる。◎薬房で取り表 うアイテムの保健・衛生、生活の質の向上に 果たす役割を説明できる。◎薬房アイテムの 統通機構に係わる人達の仕事を見学し、薬剤 郷義務と関連づけて説明できる。	找明	0	1		1 注1		90 x 3		
《薬局等	(利)									
P102	◎代表的な薬局製剤・漢方製剤について摂税できる。	説明	0	1			資料、 テキスト	90 x 1		
P103	◎代表的な薬局製剤・漢方製剤を調製できる。	突習	0	1				90 x 2		退択 (他施設へ依頼 も考慮)
(薬局)	イテムの管理と保存)									
P104⊿	◎医薬品の連正在庫とその意義を説明できる。◎熱入医薬品の検収を体験し、その チェック項目。(使用期限 ロットなど) を列 挙できる。◎薬局におけるアイテムの管理、 配列の概要を他煙し、実務を体験する。 (知 説・技能)	説明·実習	0	1				90 x 4		
〈特別な	(配慮を要する医薬品)									
P105⊿	◎ 序翼、向結神薬などの規制医薬品の取扱い について説明できる。 ◎ 事物、刺他の取扱い について説明できる。 ◎ 社的な管理が義務付 けられている医薬品 (序薬、向精神薬、劇 薬、毒薬、特定生物由来製料など)を挙げ その保管方法を見学し、その意意について考 務する。(他度)	説明・見学	_	1				90 x 1		

注1 枚負の世加が望ましい。

(2) 情報のアクセスと活用

							·	学生	数は1施設2名	以内
LS	到達目標	学習方法	場所	人! 指導薬剤師	的ほ狐	46.27	例的資源 (例示)	時間	患者、脳密と の関わり	備考
《翠剂』	頭の心構え》 ・	1	(A) (A)	指導条例際	他切石	社員	(भगगर)		00000	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	◎医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守する。(施度)◎職務上知り得た情報について守秘義務を守る。(施度)	討議	0	1	,	1 注1	各大学における関連資料、販局で 提供される 登料			
《附報》	の入手と加工》									
P202⊿	②密既混めの迷本的な情報额(単生労働省、目本限別市会、 本限限工業協会、限限金貨、日本限別市会、 関など)の種類と特徴を正しく理解し、適別 に選択できる。(知識・技能) ◎基本的な 医聚品情報(替告、禁忌、効能、別作用、相 互作用など)を収集できる。(技能)	對議·演習	0	1	MRI, MS		音探、 複級 供 供 気料、 は 根 か 、 小 本 表 明 の ト 、 処 方 せ か 文 か 本 、 処 方 せ か と か か す と か か す と か か す か か す か か す か か す か か す か か す か か す か か す か	90 x 5		
P203	◎処方内容から得られる患者情報を的確に把握できる。(技能)	演習	0	. 1			添付文書、 処方せん	90 x 5		
P204	◎ 薬歴簿から得られる患者情報を的強に把握できる。(技能)	流智	0	1			果是和	90 x 5		
P205⊿	◎緊急安全性情報、不良品回収、製造中止などの緊急情報の取扱い方法を説明できる。	説明·汶 智·実習	0	1			各種関連情報	90 x 2		
P208⊿	◎問い合わせに対し、模拠に基づいた論理的 な報告事を作成できる。(知識・技能)	演習	0	1			問い合わせ事例、 研模供外、 存成分子本の インターネット、 ルーフレット	90 x 3		報告書の様式は自由
P207⊿	◎医薬品・医療用具等安全性情報報告用紙に必要事項を記載できる。(知識・技能)	演習・英智	0	1			事例、報告 用紙	90 x 2		
《情報	の提供》								·	·
P208	◎入手した情報を評価し、患者に対してわかりやすいな深、表現で適切に説明できる。 (技能・能度)	演習	0 .	1			苦雅、福報、 福供ント、開 イント明レ オース	90 x 2		
P209	⑥入手した患者情報を、必要に応じ、適正な 手続きを経て他の医療従事者に提供できる。 (技能・能度)	智家	0	1			必要に応じ た資料	90 x 3		
P210⊿	◎患者および医聚品に関連する情報の投受と 共有の重要性を感じとる。(機度)	討構	0	1				90 x 3		

注1 数員の参加が望ましい。

(3) 薬局調剤を実践する

(3)	采局調剤を実践する						A 4.	学生	改は1施設2名	以内
LS	到透目点	学習方法	場所	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	近旗 植助者	秋貝	物的資源 (例示)	時間	患者、原答と の関わり	. 備考
《保険	関刑業務の全体の流れ》									
P301	◎保院調剤業務の全体の誠れを理解し、処方 せんの受付から調剤権間の請求までの報項を 設別できる。@保険源のとして設定される条件を、某馬の設備と関連づけて具体的に説明 できる。	説明・見学	0	1			プリント	90 x Z		
処方せ	んの受付)						,			
P302	◎処方せん(解集を含む)の形式および記載 事項について説明できる。 ◎地方せん受付時 事項について説明できる。 ◎地方せん受付時 の旅子よび住定事項(里者名の確認、患者 の旅子、処方せんの使用期限、記載不確、偽 遠处方せんへの注意など)について説明でき る。 ◎初来局患者への対広と初回質問決の利 用について説明できる。	説明·爽智	0	1			処方せん	90 x 2	患者	
P303	◎初来局および再来局患者から収集すべき情報の内容について説明できる。	説明	0	1			薬服・質問 次	90 x1		,
P304⊿	回処方せん受付時の対応ができる。(技能・他 度) ⑩生命に関わる軌種であることを自覚 し、みさわしい相度で行動する。(故庭) ⑩ 患者が自らすすんで話ができるように工失す る。(技能・施度) ⑩患者との会話などを通 じて、腹弾上の間題点(服薬状況、制作用の 発現など) を把鍵できる。(技能)	奖智		1		,		90 x 7	忠省-	見学 (5分x12枚) → ロールプレイ (新 払, 再来など15分x 6 ケース) → 典談に (15分x20ケース)
《処方せ	しんの錯弦と疑惑原会)					,				
P305⊿	⑩処方せんが正しく記載されていることを確認できる。(技能)⑩処方せんに記載された 処方渓の妥当性と、医薬品名、分食、用法、 用量、果物相互作用などの知識に基づいて判断できる。(知識・技能)	実習	0	1			処方せん・ 部付文書 等・コン ピュータ・	90 x 2		
P306	◎薬歴報を参照して処方内容の妥当性を判断できる。 (知識・技能)	灾 替	0	1			薬鼠簿・処 方せん	90 x12	应者	15分x12枚
P307	◎疑綫照会の行い方を身につける。 (知識・ 他度)	以明・見学	0	1			英配簿・処 方せん・調 削録	30 x 1		
P308	◎ 疑 発照会事例を通して、医療機関との連携、患者への対応をシミュレートする。 (技能・態度)	演習(ロー ルプレイ)	0	1			薬暦御・処 方せん・調 剤鉄	90 × 1		全州間を通じて事例 があったときに原剤 師の対応を見学す る。
(計数・	計量調剂)			,					·	
P309⊿	◎無袋、乗札に記載すべき事項を列挙できる。	説明·実習	0	1	ļ	ļ	藻袋・膜札	80 x 1		
P310∠	一両品本の医薬品に異なった異核があるものについて具体領を列域できる。 ◎ 現える商品 名で、同一有効成分を含む代表的な足薬品を 列撃できる。 ◎代表的な同様・同効果を列導 できる。 ◎代表的な医薬品を色・形、線別 コードから環別できる。 (技能)	実習・演習	0	1			処方せん	30x1(D	線剤、カプセル剤の 松方せんを標準30女生 以上。 ただ。 の到達度に応じて変 更する。
P3112	◎一回量(一包化) 綱剂を必要とするケース1 について説明できる。◎一回妣(一包化) 調剤を実施できる。(技能)	説明・実習	0	1	1		薬品律・知 方せん	90 x	1	
P3122	の絵材の製料 セトバカブセル制の開射の可	説明・実習	0	1			資料	90 x	1	
P3132	◎按剤、液剤などの計量調剤ができる。(技能)。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	説明·実習	0	1			処方せん	90 x	5	設別、権利の処方せん 係項10枚以上。ただし、 学生の到議度に応じて 更十名。
P314,	体験する。(技能)	実習	0	1		,		90 x	1	
P315,	□ □ 日己注射が承認されている代表的な医薬品を調剤し、その取扱い方を説明できる。	説明·演習	0	1	\perp	1	ビデオ	90 x	2	医療廃棄物の処理など
(計数	・計量調剤の鑑査)	 	,					хт —		
P316.	△ ◎ 調剤された医薬品に対して、紙査の実務を 体験する。 (技能)	説明·実製	0 1	1	1		方せん・		ıs	

r adional										· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
(股藥	1導の基礎)	,	,	T		,				
P317⊿	◎適切な服薬指導を行うために、患者から集める情報と伝える情報を予め把握できる。 (知識・技能)	説明·演習	0	. 1				90 x 1		
P318⊿	◎薬歴管理の意義と重要性を説明できる。◎ 薬歴権の記載事項を列挙し、記入できる。 (知識・技能) ◎薬歴権の保管 法、期間などについて説明できる。	説明·演習	0	. 1				90 x \$		
P319⊿	◎妊婦、小児、高齢者などへの服薬指導において、配慮すべき事項を列挙できる。	説明	0	1			资料	90 x 1		
	◎患者に使用上の説明が必要な誤軟育、生 剤、吸入剤などの取扱い方を説明できる。 (技能)	説明·実習	0	ſ			资料	90 x 2		
【股葉指	導入門実習〉									
P321⊿	②指示通りに医薬品を使用するように違切な 指導ができる。 (技能) ◎悪歴常を活用した 限薬指導ができる。 (技能) ◎患者向けの説 明文書を使用した限薬指導ができる。 (技 能) ◎丸栗手帳、健康手帳を使用した限薬指 達ができる。 (技能)	見学·実習	0	. 1				90x12	患者	STEP#I:見学、 STEP#2:シミュレー ト 住2
(服業計	淳实践実習)							,	,	
P322⊿	○愚者に共成的態度で接する。(態度) ○ 患者との会話をも適じて病態、	突習	0	. 1	,	1 注1		90x40	. 患者	STEP #3 指導薬剤経譜導下で の実践(実際にす る) 注2
/创制组	と処方せんの保管・管理)	Ц.,		l			l		L	
	に元カラに小いた皆 日 至 カ ●関射鉄の法的規制について説明できる。 ●関射鉄への記入事項について説明できる。 ●関刺鉄の保管、管理の方法、別間などについて説明できる。	說明	0	1				90 x 1		
P324	◎調剤後の処方せんへの記入事項について説 明できる。	談明	0	1				90 x 0.5		
P325	◎処方せんの保管、管理の方法、期間などに ついて説明できる。	説明	0	1				90 x 0.5		
(調剤報		,		,			,			
P326	◎脚剤報酬を算定し、調剤報酬明和書(レセ プト)を作成できる。(技能)	説明·演習	0	1				90 x 5		
P327	● 薬剤師の技術評価の対象について説明できる。	説明 演習	0	1.				90 x 2		
(安全対		•							···	
P328⊿	◎代表的な医療事故訴訟あるいは調剤過誤事例について調査し、その原因について指導原剤師と話し合う。(知識・維度)	討議	0	1			本创作	80 x 1		
P329⊿	◎名称あるいは外観が類似した代表的な医薬品を列挙できる。	説明·典智	0	1			資料 (テキ スト)	90 x 2		
P330⊿	◎特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性 腫瘍薬、抗糖尿病薬など)を列準できる。	説明·英智	0	1			資料 (テキ スト)	90 x 1		
P331⊿	◎調剤過級を防止するために、実際に工夫されている事項を列益できる。	说明·卖智	0	1			資料 (テキ スト)	90 x 1		
P332⊿	◎調剤中に過級が起こりやすいポイントについて討議する。(態度)◎過級が生じたときの対応策を討議する。(態度)	itiā	0	. 1			本例集	90 x 1		
Р333⊿	◎インシデント、アクシデント報告の記載方 法を説明できる。	講教·演習	0	1				90 x 1		

	到途目標	学習方法	均所		的資源		物的资源	時間	出省、脚客と	備考
LS		4- 13 73 14	蒸局	招導應剂師	植功岩	数贝	(例示)		の関わり	
	・顧客との接遇》		 _				各大学の簡		1	
P401	◎かかりつけ薬局・薬剤師の役割について指 海薬剤師と話し合う。(態度)◎患者、顧客 に対して適切な態度で接する。(態度)	討議	0	1		1 注1	連資料、業 局で提供さ 九ろ資料	90 x 2		
P402	◎疾病の予防および健康管理についてアドバイスできる。(技能・態度)	演習	0	1			朝速資料	90 x 2		
P403	◎医師への受診勧告を適切に行うことができる。 (技能・態度)	演習	0	1			前述資料	90 x 2		
《一般	用医薬品・医療用具・健康食品》		-							
P404	◎セルフメディケーションのための一般用医 薬品、医療用具、健康食品などを適切に選 択・供給できる。 (技能)		0	1			当政商品	90 x 5		
P405	◎願容からモニタリングによって得た個作用 および相互作用情報への対応策について説明 できる。		0	1			M速資料	90 x Z		•
《 カウ	ンター実習》								,	
P406	顧客対応実習: ◎顧客が自らナナルで話が できるように工夫する。 (技能・順度) ◎扇 なが必要とする情報を前域に犯役する。 (技 能・態度) ◎周客との会話を通じて使用集の 対き目。 即作用に関する情報を収まできる。 (技能・値度) ◎入手した情報を評価し、 岡 名は対してわかりやすい音葉、 教現で適切に 致めできる。 (技能・順度)	·					W PATE O			約50名の顧客と対応 をする。 一般 医薬 品を扱っていない場
P407	岐床管理東晋: ◎疾病の予防および健・療 理についてアドバイスできる。 (技能・ 度) ⑩セルフドバイスできる。 (技能・ 原) ⑩セルスディケーションのための一般 用医薬品・医療用具などを適切に選択・供給 できる。 (技能) ⑩医師への受診動母を適切 定行うことができる。 (技能・超度) ⑪息 塔・顧客からモニタリングによって得た別作 用および和互作用情報への対応算について説 明できる。		0	1	,	1 注1	当該商品	30 x 50	新 卷	合は他の一般用医販品を扱う販局で実習を行う (必能)。

注1 数員の参加が望ましい。

(5) 地域で活躍する薬剤師

			· · · · · ·		11 12 12		777 27 14 14		数は1施設2名	以内
LS	到遠目標	学習方法	<u>場所</u>		的資源 「補助者」	数員	物的資源 (例示)	時間	患者、顧客と の関わり	備考
《在字	医療》	L	98(19)	MARINEMIES	1 10 77 9 1	W/A	1	·		
P501	⑩訪問薬剤管理指導業務について説明できる。⑩在宅医療における医療流薬物の取り扱いについて説明できる。	説明·見学	0	1			追院情報、 関連資料・ 用品	90 x 2		可能な限り出家、特 老、老健などを見今 する。
P502	◎無剤師が在宅医療に関わることの意義を指導集剤師と話し合う。(態度)	村道	0	1				90 x 1		
《地域	医療·地域福祉》							,	,	
P503	◎病院架剂師と薬局聚剂師の連携の重要性を 説明できる。	説明・討議	0	1				30x1		
P504	◎当該地域における休日、夜間診療と薬剤師の役割を説明できる。	説明·見学	休日急病 診療所	1				90×1		夜間となる
P505	②当該地域での居宅介護、介護支援専門員などの医療福祉活動の状況を把握できる。(知識・技能)	説明·演習	0	1	介護支 援専門 負			90 x 2	. 1	
(災害B	寺医療と薬剤師〉									
P508	◎緊急災害時における、当該災局および薬剤 師の役割について説明できる。	1.说明	0	1				30 x 1		
P507	◎緊急災害時における、当該薬局および薬剤 師の役割について説明できる。	異学	防災セン ター、避 発 別の備蓄 センター	1				90 x 2		
《地域包	最低 》									
. P508	◎学校薬剤師の職務を見聞し、その役割を説明できる。	説明·見学	0	1 .	学校獎 資師			90 x Z		可能な限り学校を 学
P509	◎地域住民に対する医薬品の過正使用の啓発活動における薬剤師の役割を説明できる。	説明·見学	保健所等	1			阴速资料	90 x 2		
P510	◎麻狐・覚せい剤等薬物乱用防止運動における薬剤師の役割について説明できる。	100.001	0	1			剧速货料	90 x 1		
P511	を列挙し、わかりやすく説明できる。		0	1			当球商品	96 x 1		
P512	◎訳献、説食による中審および食中器に対して適切なアドバイスできる。(知識・技能)	説明·演習	0	1 ,			阴遮资料	90 x 1		
P513	◎生活環境における悩毒の概念について説明できる。	説明·演習	0	1			当該商品	90 x 1		
P514	◎話題性のある票物および健康問題について、科学的にわかりやすく説明できる。	説明·演習	0	ì			関連資料	90 x 1		

[|]接を説明できる。
|接1|| 数目の参加が望ましい。
|接1|| 数目の参加が望ましい。
|接2|| STEP #1 見字 (指導薬剤師の仕事を見る) 概算: 10分/患者1人x18人=180分= 90分x2 レポート 90分x4 指環薬剤師と
| 住2 | STEP #1 見字 (指導薬剤師の住事を見る) 概算: 10分/患者1人x18人=180分= 90分x2 レポート 90分x4 指環薬剤師との計論・反省 90分x2 STEP #2 指導薬剤師の限についてどう説明するか(立案・構成をしてみる) 概算: 10分/患者1入+20分/立案(リアルタイムで)x8人=270分= 90分x3 | 指導薬剤師との計論・反省 90分x1 STEP #3 指導薬剤師の指導下でコミュニケーションの実践(実際にする)

《地域	対応実習》									
P515	◎日用品に含まれる化学物質の危険性を列挙し、わかりやすく説明できる。◎駅飲、放了による中毒および食中帯に対して運切がアドバイスができる。 (知識・技能) ◎全活環境における消毒の素(水ついて説明できる。 ◎ 話題性のある 薬物おじた 使原問題について、科学的にわかりやすく説明できる。	演習または実習	0	1	,	1 注1	朝速资料	90 x 4	顯客	SBOsのうち1つを選ぶ。

注1 数異の参加が望ましい。

(6) 薬局業務を総合的に学ぶ

	到達目標			学生数は1施設2名以内				
LS		学習方法	均所 薬局	人的資源			患者、顧客と	備考
				指導薬剤師	補助者 飲員	(例示)	の関わり	149.5
【《総合実習》								
P601	◎薬局業務を総合的に実践する	実習	0	1.	1 注1	90 x 25		薬房における1週間 の業務を総合的に実 践する。
P802	◎患者の健康の回復と維持に張剤師が積極的に貢献することの重要性を感じ取る。(態度)◎繋が病気の治療、進行防止を通して、病気のつ後との処の必要に貢献していることを感じとる。(態度)	討議	0	1	1 / 注1	90 x 2		

注1 教員の参加が望ましい。